

学習課題（中学校 2 年生）

【社会】

<内容>

世界の気候と比べて、日本の気候にはどのような特色がみられるのだろう。調べたり考えたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1) 世界の気候を大きく五つの気候に分けると、日本は何という気候帯に属するだろう。教科書 P23 の「世界の気候帯の分布」等を参考に確かめてみましょう。
- (2) 日本の気候は六つの気候区分に分かれていることを、教科書 P145 の地図資料で確かめてみましょう。また、それぞれの気候の特色を、教科書 P145 の「日本各地の気温と降水量」を表したグラフ（雨温図）から読み取ってみましょう。
- (3) 日本の気候に影響を与えている「季節風」とは、どんな特色をもった風なのだろう。また、「梅雨」や「台風」とは何だろう。教科書 P145 の本文で確かめてみましょう。

<学習のヒント>

- (1) 世界の五つの気候帯の特色を、教科書 P24～35 で復習してみましょう。また、地図帳の世界の気候帯の分布に関する資料を活用し、日本の気候帯を確認してみましょう。
- (2) 六つのグラフ（雨温図）について、年平均気温や年間降水量、月ごとの降水量や月平均気温に注目し、それぞれの気候の大まかな特色を読み取ってみましょう。
- (3) 「季節風」の風向きを教科書 P144 で確かめ、この風が各地の降水量にどんな影響を与えているか、雨温図と関連させて考えてみましょう。「梅雨」や「台風」が降水量に与える影響も考えてみましょう。